部　方　針　書

年度	部名	部長名
R7	観光スポーツ文化部	青山　佳代

1　**部の経営方針**（部全体を俯瞰したマネジメントの目標）

No	項目（業務、組織、人材等に関するマネジメント目標）
1	市民が何度も行きたくなる、自慢したくなる「場所」や「イベント」が、必然的に市外からの誘客や関係人口増加につながるような仕掛け、仕組みを作る
2	新たな情報やトレンドを把握するためのアンテナを張り、設定したターゲットに訴求する最適な手法での発信により情報接触度、到達度を高める
3	部内各課がそれぞれの資源とその魅力、課題を理解し合い、相乗効果を生む事業展開を進める
4	老朽化等の課題を持つ施設や長年にわたり継続実施しているイベント等について、今後の方向性の検討を行う
5	管理職が常に中長期的な視点に立って、業務を俯瞰的に捉え、部下職員が今すべきことに全力で取り組める職場環境づくりに努める
6	業務の平準化、脱属人化、アウトソーシングを進め、職員のワークライフバランスを向上する
人財育成・内部統制	知識と意識の両立と向上に努め、些細な違和感や確認不足を放置しないことを部内で徹底する

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	観光交流課	林 美佐

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

●本市ならではの観光コンテンツを磨き上げながら、インバウンドも含む国内外の観光客の増加を図るとともに、観光客による宿泊・飲食などの消費を喚起することで地域経済への波及効果を高める。
●外国人住民と地域住民との相互理解や、インバウンド観光客への適切な対応など、社会全体の包摂性を高め、多文化共生社会にふさわしいまちづくりを進める。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	観光施策からのアプローチによる交流人口の増加	前期実計	観光交流人口	180万人（R8年度）	188万人	200万人	未来4
2	観光施策からのアプローチによる交流人口の増加	個別計画（宇部市観光交流アクションプラン）	のべ宿泊数	30万人	30万人	30万人	未来4
3	多文化共生への理解が進み、国籍に関わらず全ての市民が、お互いの国の文化や習慣を理解・尊重し合い、誰もが安心して暮らしている	個別計画（宇部市多文化共生推進ビジョン）	―	－	－	－	―
人財育成・内部統制	脱・前例踏襲、根拠確認と報連相を徹底し、早め早めの対応が可能な体制を整え、事務処理ミスを防ぐ						

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	ときわ公園企画課	山田　将司

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由
ときわ公園開設100周年となる節目をむかえ、より一層、市民が誇れる都市公園になることをめざして、民間事業者との連携事業や、民間活力の導入検討、新たな魅力づくりなどにより、「市民の憩いの場」と「観光交流の拠点」の両立を実現できるよう、持続的にときわ公園の活性化を進めていく。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	来園者が自然や園内施設を楽しみ、若者や地元事業者など多様な主体との「共創」による魅力にあふれたイベントや取組が増え、市民に愛され、誇りを持てる都市公園となっている。	前期実計	ときわ公園年間入園者数	800,000人（R8）	695,000人	780,000人	未来4
2	館内の植物が適正に管理・展示され、植物に関連する企画展を随時開催するなど何度も訪れたくなり、愛される植物館となっている。	個別計画(ときわ公園活性化基本計画)	植物館の入館者数	60,000人（R8）	51,807人	56,000人	未来4
人財育成・内部統制	事務処理ミスが発生しないよう業務知識及び意識の向上に向けた体制づくりに取り組む。						

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	ときわ公園整備課	金子　豊

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由
「ときわ公園活性化基本計画」に基づき、園内の花木や施設を計画的に維持管理し、ときわ公園の魅力をグレードアップさせるとともに、「市民の憩いの場」や「観光施設」として、充実を図る。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	年間を通じ、ときわ公園を多くの市民が訪れる憩いの場とする。	前期実計	年間入場者数	R8 800,000人	695,097人	780,000人	―
2	スポーツ広場周辺の歩道整備を実施し、歩行者の安全を確保する。	個別計画(ときわ公園活性化基本計画)	北側周遊園路歩道 L=約580m （歩道整備延長割合）	R9 L=約580m （100%）	L=約80m （14%）	L=約60m（R6繰越） L=約20m(R7) （28%）	―
3	ときわ公園障害福祉サービス事業所の指定管理者を公正に選定する。	その他	協定締結	協定締結	募集選定準備	協定締結	―
人財育成・内部統制	事務処理において前例踏襲を避ける意識を持ち、根拠をもった正確な事務処理を行うよう徹底する。						

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	スポーツ振興課	明徳義和

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由
「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも」市民一人ひとりがスポーツを通じて豊かな人生を送ることができる環境を整備する。 「する、みる、ささえる」スポーツの推進により、「誰もがスポーツを楽しむことができる　笑顔でつながるまち・宇部市」の実現をめざす。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	●誰もがスポーツを楽しむことができる環境づくりが進む（子どもから高齢者、障害の有無に関係なく希望に応じて多くの市民が気軽にスポーツに触れる機会がある。） ●市民の心身の健康の増進（スポーツへの参加意欲が高まり、健康的なライフスタイルが広がり、地域全体のQOL（Quality of Life：生活の質）が向上する。） ●地域活動の増加による地域コミュニティの活性化 ●共生社会の実現につながる活力ある地域づくりの推進	前期実計	週1回以上スポーツをする成人の割合（%）	80%	－	79.2	未来1・4
2	●トップアスリートやプロスポーツチームの活躍により、多くの観戦者の来場や交流人口が増加（交流人口の拡大、経済効果や地域活性化が進む。） ●地域住民の連帯感やシビックプライドの醸成	前期実計	スポーツを通じて交流する人の割合（%）	25%	－	22.4	未来4
人財育成・内部統制	●課内職員が情報を共有し、意見を出し合える環境がある		課内情報共有会議の開催数	12		12	

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	文化振興課	中祖　敏文

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

文化を通しての楽しさや感動は、市民の心を豊かにし、日々の暮らしに潤いをもたらすとともに、文化やアートは、人と人、人と社会のつながりを深め、市民生活や活力ある社会の基礎となるものであるため、効果的な文化施策に取り組むとともに、文化施設の計画的な維持管理を行い、人と地域がきらめく文化の薫るまちづくりを推進する。
また、開催間隔を変更した野外彫刻展を、今後も市民のシビックプライドにつなげ、彫刻をより身近に感じる機会を創出するとともに、アートのまちとして魅力ある地域づくりを目指す。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	市民が文化に触れることで、心を豊かにし、日々の暮らしに潤いがもたらされているとともに、人と人、人と社会のつながりがより深まり、市民生活の向上や活力ある社会づくりにつながっている。	前期実計	文化を鑑賞した人の割合（%）	80.0	75.4	80.0	―
2	彫刻教育を受けることで、わがまちの野外彫刻について知ることができ、シビックプライドが醸成されているとともに、アート教育としても創造力や豊かな感性が育まれている。	その他	彫刻教育受講者数（人）	2,900	3,182	3,200	―
3	野外彫刻展を継続して開催することで、まちの魅力向上や交流人口の拡大、にぎわいの創出につながっている。アートのまちづくりに野外彫刻展が果たす役割が大きいと思う人が増加している。	前期実計	「UBEビエンナーレ」に対する市民の理解度（%）	80.0	81.6	82.0	未来4
人財育成・内部統制	人材育成や内部統制を進めていくには、まず課内のコミュニケーションを活発にすることが必要であると考える。風通しの良い職場風土を醸成したい。						―

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	部活動地域展開室	森本哲也

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由
将来にわたって中学生がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会をできる限り確保し、地域の様々な世代間の交流を深める。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	●生徒たちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保 ●子供たちの多様な体験機会を確保 ●中学校部活動の地域クラブ移行の促進		全ての中学校部活動の地域展開（残り約140部活）【累計】	全ての中学校部活動の地域展開（残り約140部活）【累計】（R13年度）	認定クラブ数7クラブ（10部活）	認定クラブ数20クラブ（20部活）【単年】	未来3
人財育成・内部統制	市長部局、教育委員会事務局双方の職員の兼任、併任、地域コーディネーターの設置という強みを生かし、部局間で連携して取り組む。						